

2025年度(令和7年度) ケーブルテレビ館林放送番組審議会 議事録

1. 開催日時 2026年1月20日(火) 13:30~14:30
2. 開催場所 ケーブルテレビ館林(館林市美園町13-2)
3. 委員の出席 審議委員総数 16名
出席委員数 16名(随行2名)

■出席者(敬称略)

多田	善洋	会長	(館林市長)
小野田	富康	副会長	(板倉町長)
須藤	武	代理出席	(明和町総務課政策室長)
須永	洋子	代理出席	(千代田町総合政策課長)
堀	基範	代理出席	(邑楽町企画課広報広聴係長)
鹿沼	義一	代理出席	(館林商工会議所専務理事)
小池	敏郎	委員	(板倉町商工会会長)
石倉	利昭	委員	(明和町商工会会長)
高野	広	委員	(千代田町商工会会長)
長山	清	委員	(邑楽町商工会会長)
横村	恭彦	委員	(館林地区消防組合消防長)
亀山	規男	委員	(館林市区長協議会理事)
根岸	尚之	委員	(板倉町行政区長会会長)
堀口	哲哉	代理出席	(館林市教育委員会委員)
矢嶋	廣紀	委員	(板倉町教育委員会教育長職務代理者)
山本	樹	委員	(まちづくりを考える研究グループ代表幹事)

■ケーブルテレビ株式会社 出席7名

高田	光浩	(代表取締役社長)
中沢	利樹男	(常務取締役)
鈴木	弘樹	(館林センター局長)
今泉	勉	(コンテンツ部 地域プロモーション課 課長)
横山	拓	(コンテンツ部 地域プロモーション課 課長代理)
松本	幸美	(コンテンツ部 地域プロモーション課 係長)
山崎	友里江	(コンテンツ部 地域プロモーション課 係長)

4. 報告事項

【全体】

- (1) 新委員の委嘱に関する報告
- (2) 放送エリア及び加入状況に関する報告
- (3) ケーブルテレビ(株)の取り組みに関する報告
- (4) 前回の審議会での指摘・進捗報告

【コミュニティチャンネル関連】

- (1) 2025 年度の取り組み
- (2) チャンネル構成
- (3) 主なレギュラー番組
- (4) 主な特別番組

■コミュニティチャンネルに関する報告についてのご質問・ご意見
なし

5. 議事

■ご視聴番組に対してのご意見・ご質問

【委員】 Menkoi ガールズの番組は大変興味を持って拝見した。一生懸命練習をしたが成果が出せない中学生を見て、この子はいいい経験をしたなど。この子が今後、諦めてしまうのか、再挑戦するのかが気になった。テレビ東京のような昼食紹介番組やタクシー運転手の人生が垣間見えるような番組が面白い。

【CATV】 オーディションには一般の小学生と中学生が参加ということでハードルもあった。保護者の方には地元のケーブルテレビということで許可をいただいた。どのくらい視聴者へ伝わっているか不安な部分もあったが、そのようなご意見はディレクターも励みになる。今後も地域の人たちが頑張っている姿を掘り下げていきたい。

【CATV】 表に出ている Menkoi ガールズの裏の部分は普段見ることができない。そういう部分を市民の皆様にご覧いただくことが重要。幼いながらも夢を持ち、結果は叶うかどうかというよりもチャレンジをする姿勢から伝わるものがある。Menkoi ガールズに限らず夢をもってチャレンジすることは大切。そうした夢を叶えるための努力を感じる番組になったのではないか。

【委員】ぐんまHOTステーションはよく編集されている。館林市邑楽郡の情報をこの番組から知ることができる。地域の魅力を発信する媒体として期待をしている。Menkoi ガールズは麵-1 グランプリをきっかけに誕生し、それ以来館林商工会議所も応援をしている。メンバーのゆいさんに感想を聞いた。「全体的にとっても見やすく構成も分かりやすかった。普段、なかなか見ることのできない自主練の様子も丁寧に編集されていた。感情移入しやすく、見た人がより一層応援したくなる。今オーディション番組は流行っているので視聴者も興味があるのでは。視聴者の関心を引く内容だと思う。」

【委員】群馬クレインサンダーズの番組は肩肘張らずに見られるのが良い。ゆったり見られる番組で良かった。今後も続けていってもらいたい。
昨日ケーブルテレビを見ていたら、邑楽郡内の幼稚園を紹介する番組を放送していた。たまたま孫が通っている幼稚園で、家族みんなで大笑いしながら視聴した。家族はこういうものを見たがっている。そういう層を狙っていければ。

【委員】去年の放送番組審議会で提案した高校生の職場体験について、取材していただきありがとうございました。板倉町町制施行 70 周年を記念した企画「高瀬舟」も放送ありがとうございました。江戸時代に板倉から江戸まで舟で運んだことを知っていただくためにも、いつか水に浮かべたい。そのためにはお金もかかる。
群馬クレインサンダーズはなじみが薄かったが、選手同士のかけあいを見て親しみを感じた。一度試合を見てみたくなった。

【CATV】ディレクターがバスケ好きというところから番組が始まった。番組の継続について、チームもスポーツが本質なので許されたスケジュール内での撮影となる。
それが毎週となると難しい。試合が空く期間にアプローチして他の選手も紹介したい。企画の内容を熟考していきたい。ご期待いただければ。

【委員】館林市の茂林寺前駅の整備は地域住民にとって 20 年来の実現なので非常に喜んでい
る。こうしたニュースをケーブルテレビで今後も継続的に発信していただければ。

【CATV】私どもも「ああいうことがありました」というだけでなく、それによって街がどのように変わっていくのかを発信していくことも大事。そこに住んでいる地域の人もどんどん紹介していきたい。

【委員】事前に DVD を見て、地域のインフラ整備状況などよくわかった。Menkoi ガールズは、大泉町で行われた国道 354 号の開通式の際に、書道パフォーマンスを見て驚いた。番組を通して歴史を知ることができて感動した。中へ溶け込んだ取材をしていただき良い番組ができている。

【委員】明和町のスペース X 臨時運行に乗車した。放送の影響が大きかった。周りからうらやましがられた。反響の大きさを感じた。

■日ごろからご覧になっている番組や編成方針、またケーブルテレビに対するご意見・ご要望

【委員】運動会について、取材許可が下りる学校は毎年同じなのか。

【CATV】撮影 NG のお子さんがいるかどうかなどは年度ごとに変わるので、その年によって許可いただける学校は変わってくる。

【委員】取材の依頼がかぶる時はどうしているのか。取材班は一度にどれくらい出せるのか。

【CATV】常時、3 班～4 班は同時に出せる体制をとっている。

【委員】映画が好き。高崎が映画の町として有名でよく上映会をしている。例えば映画をケーブルテレビで流すことはできるのか。

【CATV】映像に関しての著作権や放映権を買う必要がある。群馬県の映画ではあるが、過去にはケーブルテレビで映画を制作し、放送したこともある。許可がいただければ可能な場合もある。交渉することは可能。我々が利用者へ流そうとすると放映料を支払いながら対応となる。とはいえ地域の映画であればそこまで高くはないと思うので交渉は可能かと思う。

【委員】館林市邑楽郡に限ったことでないがボランティア団体が厳しい状況。今は人を集めるのに苦労している。各団体に人が集まるようにぜひ取り上げてほしい。

【委員】今までも言ってきたが加入世帯数がマイナス。邑楽郡内で開局が進んできたので今まではプラスだったかもしれないが現状のままでは視聴世帯数が伸びない。せっかく良

い番組を作っても視聴する機会が増えなければ無駄になってしまう。ぜひ自治体の皆様には補助金を出すなどして加入世帯数を増やして欲しい。住民の半分位入っていただけの状況になれば。

【委員】公共性の中での補助金は公平性の問題もある。

【委員】ニュータウンができた時に全世帯に入れたので板倉は加入世帯数が多いのでは。

【CATV】加入以外の全体の世帯数も減っている中での視聴世帯数も減少している。今後、住民の安全安心の為にしっかり取り組んでいく。例えば大きな災害が起きた際の行動を、ケーブルテレビを通して発信していく。そのための何らかの策というのを自治体と相談しながら何か良い案がないか我々も努力していく。独居老人向けにケーブルテレビを見ていただく補助金の支給は茨城県の自治体でこれまでに前例があるので、群馬県の自治体の皆様にもお伝えしながら地域の活性化のためのコミュニティチャンネルを皆さんに見ていただけるようお願いしていきたい。

【CATV】ボランティアについて、地元の消防団も今は中々募集をしても集まらない。しかし、そういった方のおかげで地域の安全は守られている。そのことをケーブルテレビが放送を通して伝えていくことが大事。単なるボランティア募集というだけでなく、活動がどのような役に立っているのか、それを伝えることができれば手を挙げていただける方も増えていくかもしれない。そういった番組作りも行っていきたい。

以上